公益社団法人　隊友会　https://www.taiyukai.or.jp/

令和６年度中央防衛セミナー録画配信のお知らせ

12月２日から令和６年度中央防衛セミナーの録画配信を実施しています。視聴は隊友会ホームページまたは右２次元コードから。

隊友

令和６年12月15日
第848号　毎月１回・15日発行

発行所　公益社団法人 隊友会本部
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町５番１号
電　話　03 (5362) 4871・FAX4876
購読料　１カ月 120 円（税込み送料別）、１カ年 1,700 円（税込み送料共）
kouhou@taiyukai.or.jp

隊友 web 版は２次元コードからアクセスできます。

第５１回中央防衛セミナー開催

［２０２７年］日本の安全保障を考える

11月21日、米国の次期大統領にトランプ氏が当選約２週間後TKP市ヶ谷において第51回中央防衛セミナーが開催された。高原明生特別客員教授及び法政大学法学部・森聡教授、東京女子大学・福田円教授を講師に迎え、岩﨑理事長開講挨拶の後「２０２７年日本の安全保障を考える―米国、中国、台湾の安全保障政策と我が国への影響」というテーマで実施された。

公演は約２３０名の聴講者の前で行われ、同時にYouTubeでライブ配信を実施したほか、12月２日から録画配信をしている。また、令和７年１月発刊の第62号ディフェンスにも講師書き下ろしの論文を執筆していただく（※）。

講演内容サマリーは次のとおり。

森講師

「米国の対中戦略と日本の安全保障」

トランプ氏の勝因

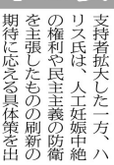
出口調査によれば、有権者の多くが「経済・家計」を重視して投票した。ここでトランプ氏は「自分が大統領だった時は経済が良かった」と論じて支持者拡大した一方、ハリス氏は、人工妊娠中絶の権利や民主主義の防衛を主張したものの刷新の期待に応える具体策を出せなかったことが勝敗を決めたと推測。

共和党の二つの安全保障観

共和党の安全保障観は、抑制主義者（反グローバリズム、価値・理念に基づく国際秩序・国際機関に否定的など）と優先主義者（力の優位を重視、欧州・中東よりもインド太平洋・中国を優先など）に２分される。トランプ氏とバンス氏は前者で、国家安全保障問題担当大統領補佐官候補のマイケル・ウォルツ氏や国務長官候補のマルコ・ルビオ氏は後者になる。このため対外交渉はこの二つの安全保障観に基づく理念が交差することを予期する必要がある。

日本の安全保障上内包する問題

安定した環境下では、日米同盟の重視、既存の防衛協力を促進の継続、防衛予算の増額要求などが予期される。ただし、自由で開かれた国際秩序を急遽する可能性もあり、また、緊急時には大統領の判断に負うことになるため、これが「トランプリスク」となる可能性がある。



高原講師

「第３期習近平政権下の中国の内政外交」

中国政治の二本の軸

中国政治の安定性を考察する上では、政治の二本の軸、すなわち横軸と縦軸に注目することが必要である。横軸とは、いわゆるエリート政治のことで、今の中国政治の横軸は、基本的にかなり安定している。しかし、何が起きているのかと首をかしげるような事態も発生している。

もう一本の縦軸とは、中国共産党と一般社会、あるいは習近平氏と庶民との関係を指す。２０２２年の厳しいゼロ・コロナ政策とその失敗によって、縦軸がこれまでになく揺れ始めており、今の行く末が懸念される事態となっている。

台湾侵攻はあるか？

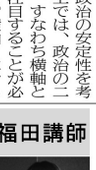
―暫くは可能性低い

このように縦軸の揺れと人事の異常事態が起きている内政ではあるが、外交は一つの中心と四つの基本点により比較的安定しているものの、習近平氏の最優先事項は体制維持であり、それが脅かされる事態が生起すれば状況は変わる。

日中関係

―今後の展望と課題

競争と協力の同時進行が必要であり、それは暫くは継続する。関係の強靭性強化のための対話と協力の増進が必要である。



福田講師

「頼清徳政権の台湾と日米同盟」

日米同盟と台湾海峡の平和と安定

２０２１年に菅首相（当時）とバイデン大統領が首脳会談を行い、日米共同声明は65年ぶりに「台湾海峡の平和と安定」が重要な関心事であることを表明した。その後、日本国内でも、台湾問題の行方や台湾有事の可能性に関する議論が活発化した。

頼清徳政権演説と軍事演習

頼清徳の演説は中国を刺激した。中国側は就任演説の３日後から２日間軍事演習を行った。しかし、この演習の規模や内容は、２０２３年春の軍事演習や２０２２年夏のペロシ米下院議長訪台に対する軍事演習に比べると控えめであった。

トランプ政権の登場と台湾海峡の平和と安定

台湾でのメディア報道はアメリカの大統領選挙一色になった。そして、トランプの当選は他の米国の同盟国・友好国と同様に、台湾にも大きな衝撃を与えている。日本はトランプ政権になっても、日米同盟を安定させることに尽力するしかない。

その上で、日本は中国の地域における軍事的な現状変更を念頭に置いた抑止力の維持・強化と、中国とのコミュニケーションをしっかりと同時に進めていく必要がある。また、日本は台湾との間でも、これまでのやり方を発展させて、より安定した政治的なコミュニケーションをとっていく必要があるのではないか。

※おわび
ディフェンス62号に予定されていました森講師の論文は講師のご都合により中止となりました。

講演に聴き入るほぼ満員の来場者

JR市ヶ谷駅のセミナー開催ポスターを見る通行人

むらさめ出港

神奈川県隊友会が激励と見送り

10月５日、情報収集活動を兼務する第49次派遣海賊対処行動水上部隊「むらさめ」（指揮官＝長・早川正紘３等海佐）の出港行事が海自横須賀地区で行われた。この日は、あいにくの天候のため屋内での行事開催となった。

自衛艦隊司令官・大町克士海将は、最近の中東情勢に触れ、情勢の急変は否定できないため柔軟に対応できるよう備えるとともに、それぞれの持ち場を守りONE TEAMで苦難を乗り越える様に」と激励した。また、バーレーンでは海賊対処行動15周年記念行事の計画もあることを明らかにし、楽しみにしていると力の壁を送った。

最後に早川艦長の出港報告の後、幾分緊張気味の雰囲気ながら見送りの人々の盛大な拍手を受けて敬礼をしながら乗艦し、出港準備を速やかに整えた「むらさめ」は、岸壁の家族や来賓、近任の自衛官や周囲の停泊艦艇や高速リブボートが見送る中、遠い現場の海に向けての航海を開始した。

出航行事に先立つ10月１日、佐々木俊也・神奈川県隊友会長は、出港を間近に控えた護衛艦「むらさめ」艦長を訪問し、（横須賀地区部長・濱田暢喜）

早川艦長は感謝とともに「半年間という期派遣に従事しますが、皆さんの期待を裏切らぬよう任務の完遂を遂行します」と抱負を述べた。また、艦長以下むらさめ乗員の海保派遣員８名による単艦での派遣となるものの「副長以下全員を信頼しているので、不安は全くありません」と自信を示した。

護衛艦「むらさめ」のご安航と任務の達成、隊員全員の無事の帰国を心から祈念した。

隊友会幟を手に出航行事参加する神奈川県隊友会

兵庫

「隊員家族の支援に対する協力に関する協定」を締結

兵庫県隊友会（会長・小川祥一）は、10月16日までに「隊員家族の支援に対する協力に関する協定」の締結を完了した。本協定は、伊丹、千僧、姫路、青野原、川西各駐屯地司令、兵庫地本長及び兵庫県自衛隊家族会会長との間で締結されたものである。

当初は、昨年度末に各駐屯地司令等、関係者が一同に会した方式による締結を計画したが、能登半島地震災害、奥能登豪雨災害等の影響もあり延期となった。

このため、隊友会長と自衛隊家族会会長が、９月４日の姫路・青野原駐屯地を皮切りに、各駐屯地及び地本を訪問し逐次に締結を行い、16日の伊丹駐屯地における締結をもって無事に完了した。

各駐屯地での締結式後の関係者懇談会では、駐屯地司令はじめ支援業務となる担当隊員と関係する隊友会支部及び家族会地区会も参加し、今後の協力事業の進め方や訓練等への参加要領について説明した。

この際、現在抱える問題点と改善要領について建設的な意見を交換することができ、今後の活動のための貴重な参考となった。

（事務局長・小林一吉）

締結後に関係者とともに
（前列左より家族会会長、相園伊丹駐屯地司令、内藤川西駐屯地司令、小川会長）

隊友会寄付者芳名

滋賀県特別会員

奥村直広　様　５千円
（十一月二十日　現在）

発煙筒

「規格」で世界をリードせよ

―防衛技術の国際的優位を確立するために―

F―２戦闘機後継機の英伊共同開発プロジェクトが立ち上がり、２０３５年の実用化に向けて歩み始めました。航空機の開発には、操縦、燃料、油圧、エンジンなどの各種系統や電子化された制御装置を含めた複雑かつ広範な設計、試験、審査などの段階を踏まえる必要があります。

戦闘機では新技術やシステムとしての機能、さらに戦闘機となると武装機能、ステルス性、電子戦を含むデータ融合など多様な機能評価が加わり、新戦闘機には、無人機の活用や、諸外国との共同運用に耐えうるシステム設計などが求められ、さらに多くの課題をクリアすることが求められます。

航空機の実用性を評価するために、わが国は耐空性審査要領、米欧諸国ではFAA（米連邦航空局）やEASA（欧州航空安全機関）の「規格」を用いて評価できる態勢を取っています。特に、戦闘機では新技術やシステムの開発においては、国際的な枠組みにおける「規格」への積極的関与と各種試験・評価についても国際的な信頼を勝ちとることが必要です。共同開発においては、外交交渉だけでなく、運用や研究開発分野のノウハウを活用する国際水準に早期に到達した上で、わが国の運用ニーズを見据えて「規格」をリードしていくことが必要です。

２０３５年の実用化までには10年しかありません。構想や設計プロセスの早い段階における「規格」への主導的な関与が必要であり、特に技術分野における関係省庁や官民の緊密な連携により、わが国の国際的優位を確立していくことが不可欠と考えます。

（常務執行役　城殿保）

引越の見積は隊友会へ!!

日本通運、サカイ引越センター、アート引越センター、ハート引越センター、アリさんマークの引越社、三八五引越センター、離島引越し便から希望会社の見積を

一括して手配します!!

利用者満足度※ 87.2%
※令和５年度申込者アンケートより（回答者数 1,534 名）

サービスご利用の流れ

①申　込	ネット申込フォーム（またはFAX申込書）に記入して送信
②見　積	・依頼会社からの連絡（電話・メール）で見積（下見）調整 ・依頼会社の見積（下見）に応対 ・依頼会社から見積書（メール・文書）を受領
③引　越	・契約する引越会社を決めて、契約の有無を依頼会社に連絡 ・引越の実施、引越料金の支払い・領収書の受領
④請　求	赴任先の会計担当部署へ請求に必要な書類を提出（見積書、領収書、移転料精算金確認書、申立書、証明書類）

受験申込
隊友会 引越　検索
公益社団法人 隊友会 引越は隊友会の3社合見積で！！
（防衛省共済組合HP）

引越しは日通
0123 アート引越センター
信頼のブランド アリさんマークの引越社
離島引越し便 RITOU HIKKOSHI BIN
株式会社まごころこめておつきあい サカイ引越センター
ハート引越センター
三八五引越センター

お問い合せ
公益社団法人 隊友会
事務局（事業課）
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町５番１号
電話　050-5896-4312　080-6842-8746